

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 11

2015年9月11日発行

9月の聖句「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」

(新約聖書 ローマの信徒への手紙 12章 15節)



夏休み中、先生方みんなで紋別の幼稚園へ研修に行きました。その際、名古屋柳城短大の特任教授、尾上明子先生が紹介して下さいました絵です。

100年位前のチゼックスクール（オーストリアの美術学校）の生徒、BELLA VICHON(当時15歳)の作品で、子どもが神様に守られ、寄り添われている事が表現されています。

日本での印刷が許可され、この度聖十字幼稚園にも到着しました。子どもの目線に貼りますので、どうか腰をかがめてご覧ください。

園長 菊地和子

まいにち遊びこむ!

春、夏と聖十字の子ども達は、とにかく毎日毎日、全力で遊びに打ち込んでいました。子どもの「今」しか熱中できない遊びがあるのです。繰り返し繰り返し遊ぶことで、脳も体も心も発達します。ものの重さや硬さ、質感、混ぜるとどう変化するか、乾くとどうなるか、ちぎるとどう裂けるか、つぶすと何が出てくるか、登った高さや落ちた痛さ、広さと動きのバランス、傾斜地を走るとどんなスピードがつくか、どこまで組み立てると倒れるか・・・

こどもは全部やってみたいのです。自分の手で、体で試してみたいのです。そしてすべての体験が、学校に上がってから、仕事についてからのすべてに生きてきます。

空間把握ができなかったり、生活体験が乏しかったり、文字や数字の操作だけを優先してきた子は10歳の壁(抽象的な思考が始まる学習)を乗り越えられず、中学高校で苦しみます。

友だちに意地悪するとどうなるか、笑いかけてくれたらどんな気持ちになるか、どうしても遊びたいおもちゃを取り合うときどうしたらいいか、そんな学びも、自分が一番やりたいこと、つまり「遊び」の中だからこそ、真剣勝負で体験できるし、身につくのです。

こども時代はアツという間。どれだけ豊かに遊ばせるか、大人の頑張りどころです。

夏はいつもに増してアクティブでしたね! ひっくり、泥遊びOK! になると、ホールは脱衣所に変身。年少も脱着が上手になりました。早くいそげ! 3人でする!

夏の園庭遊び



アクティブなお預かり

夏休みのお預かりは、おにぎりをもってどろんぼ号で毎日いろんな公園へ遠征です。その日の人混みやお天気を見れば機変に



行き先を決定します。クタクタになるまで遊びたおして帰ってきてオヤツ。そこから再び水遊びするこども... 子どもにとって夏は天国です!

たのしい応援団

聖十字幼稚園にはたくさんの応援団がいます。お母さんたちも、小さい子を抱えながら役員会や読み聞かせ、絵本修理や手芸サークル、友の会やおやちの会の園庭改善のお手伝い(これについては改めて紹介します)と、まだまだたくさんの方たちが幼稚園に出入りして、交流を深めてくださいます。

PTA 研修会への参加も、聖十字幼稚園はとっても人数が多いのです。9月3日(木)は江別市まで10名も参加して下さいました。子育ての講演のあと、えべちゅんが出てきて、お米やコーヒーなど、江別の名物があたる抽選会などもあって、私学はおもしろいなあ、と思いました。2年後は順番からすると岩見沢になりそうです。

16日には岩見沢市で、子どものピンチを救うママレンジャー講習があり13名も参加予定が! 感謝です。